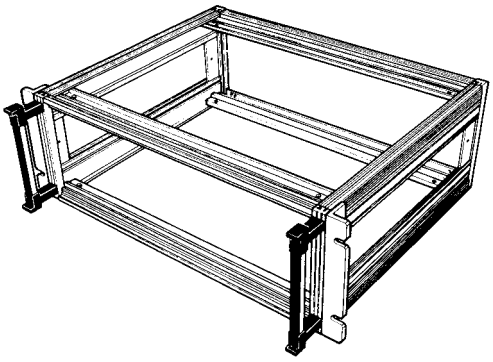
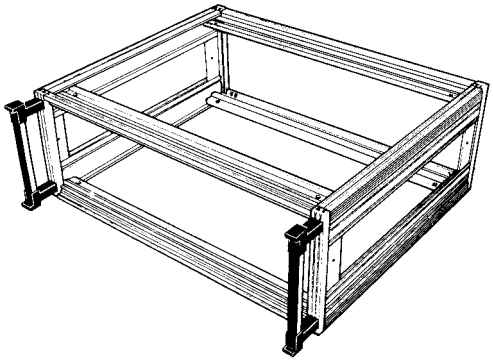
RMU-□□□□ ユニットケース組立案内

完 成 図

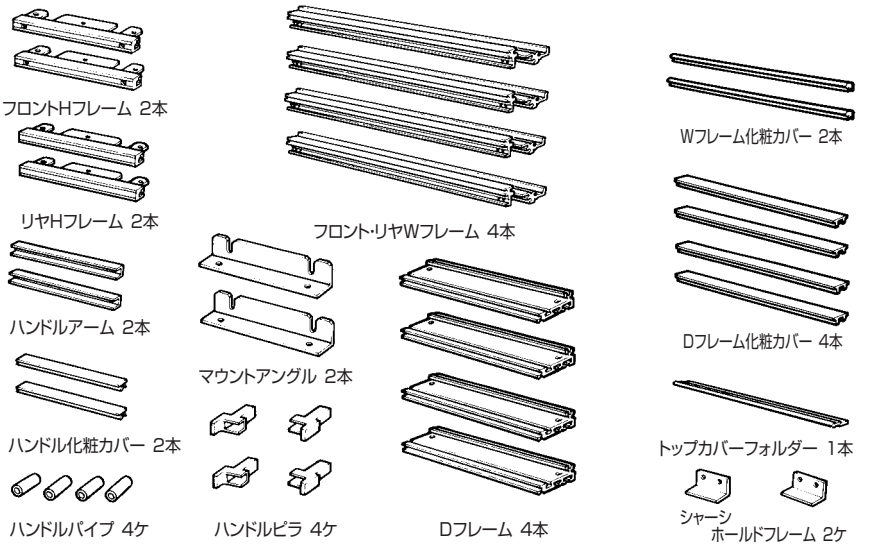


ラックマウント タイプ



デスクトップ タイプ

部品名称及び員数



十字穴付なべ小ねじ
L
M4×37……4本
M4×8……12本
M4×6……4本
M3×10……8本
M3×8……8本
M3×6……4本

十字穴付バインド小ねじ
L
M4×6……6本

六角ナット
M4……10個
M3…… 4個

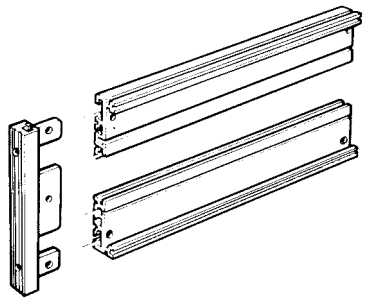
ばね座金
M4用……4個

尚、ケース完成後に残るネジ類は次のオプション・システムアクセサリーが取付けられるように用意されているものです。

ねじ類名称	サイズ	数量	使用目的
十字穴付なべ小ねじ	M4×6	4	シャーシ RKP-□□SHP
	M3×10	8	サブHフレーム
	M3×8	8	フロントパネル RKP-□□AFPN リヤパネル RKP-□□ARP
	M3×6	4	シャーシ ホールドフレーム
十字穴付バインド小ねじ	M4×6	6	スライドレール C-203・213・305-□□
六角ナット	M4	10	スライドレール C-203・213・305-□□
	M3	4	シャーシ ホールドフレーム

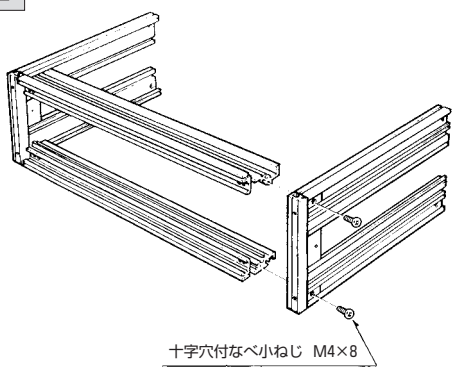
完成後にオプション関係の追加実装が容易にできるよう、六角ナットはあらかじめ組立時にフレームへ挿入しておかれることをおすすめします。

1



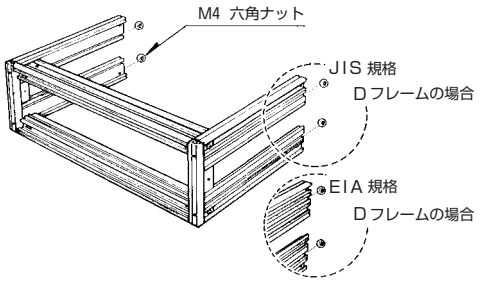
フロントHフレームをDフレームに差し込みます。

2



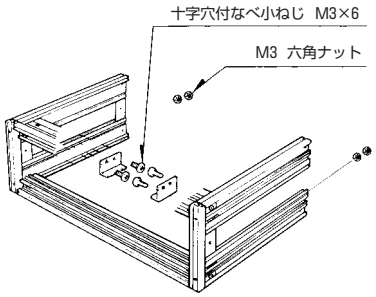
フロント·リヤWフレームをM4×8なべねじにて、H.Dフレームと共に仮止めします。

3A



ラックマウントタイプ の場合は、マウントアングルを締結する為のM4六角ナットを、Dフレームの外面の溝に、一本当り1ケずつ挿入します。
（EIA規格のDフレームの場合、詳細図参照）
次に 3B~3E までの図及び説明は、別売の各種オプション部品を実装する時のもので、本体のみの組立の場合は、4 へ進んで下さい。

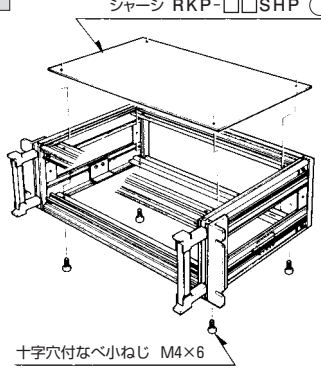
3B



オプションのシャーシ **RKP-□□SHP** を実装する場合には、あらかじめシャーシホールドフレームが取り付けられるよう、M3六角ナットを挿入しておきます。

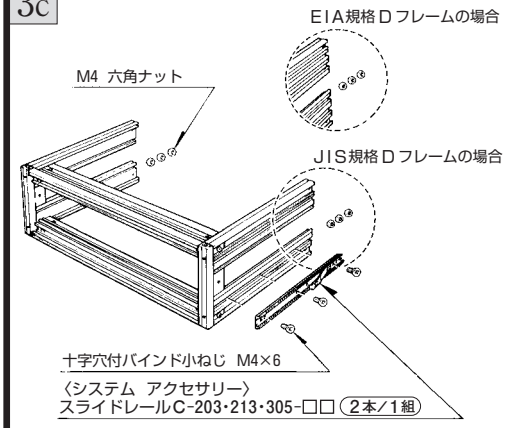
3B 補

〈オプション〉
シャーシ RKP-□□SHP (1枚/1組)



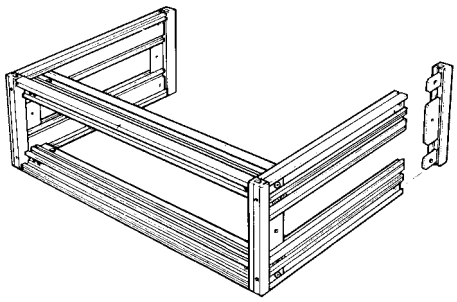
シャーシ **RKP-□□SHP** は図のようにおさまります。このとき、シャーシホールドフレームは受けの役目を果します。

3C



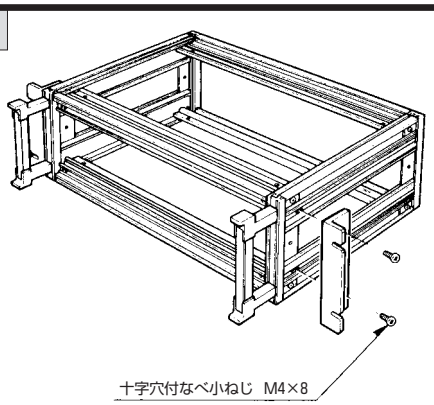
スライドレール **C-203・213・305シリーズ** を実装する場合は、レール1本当り２～３個のM4六角ナットを、上下どちらかのDフレーム外面の溝に挿入します。
（ＥＩＡ規格のDフレームの場合、詳細図参照）

4



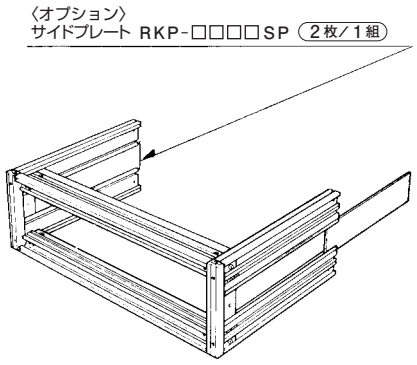
リヤHフレームをDフレームに挿入します。

6B



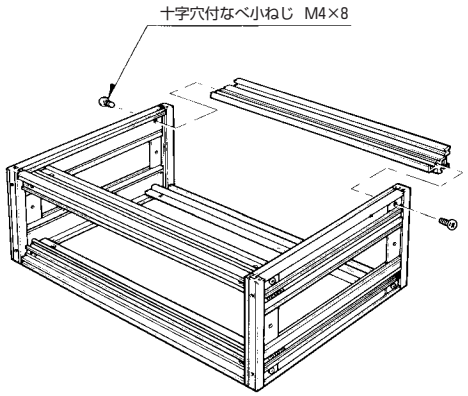
ラックマウントタイプとして使用する場合は、あらかじめ3Aで M4六角ナットが挿入されていますから、ラックマウントアングルをM4×8なべねじにて取り付けます。

3D



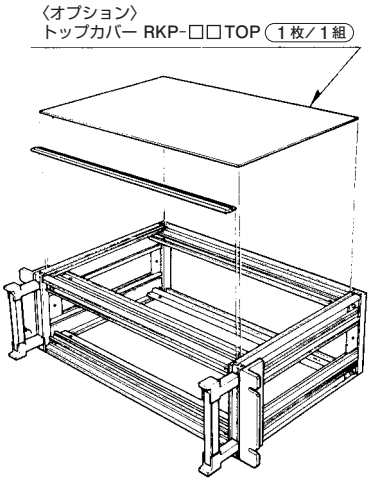
オプションのサイドプレート **RKP-□□□□SP** を実装する場合は上下のDフレーム間に挿入します。

5



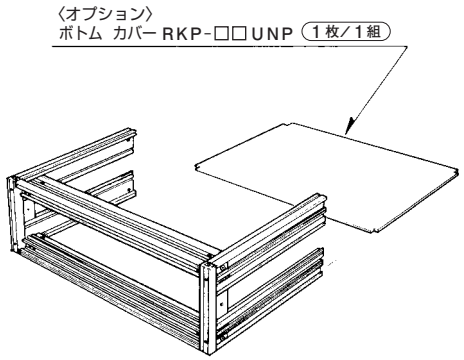
フロント･リヤWフレームをリヤにはめ込み、M4×8なべねじで締結し、全コーナーを本締めします。

7



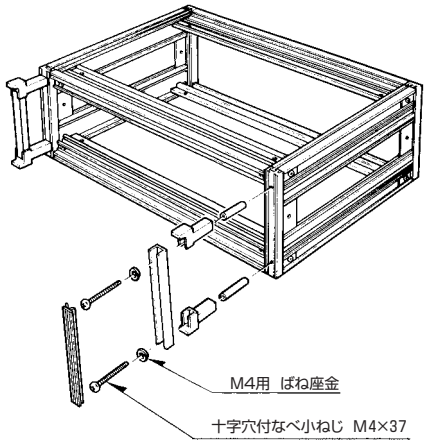
オプションのトップカバー**RKP-□□TOP**を附属のトップカバーホルダーを併用して、はめ込みます。

3E



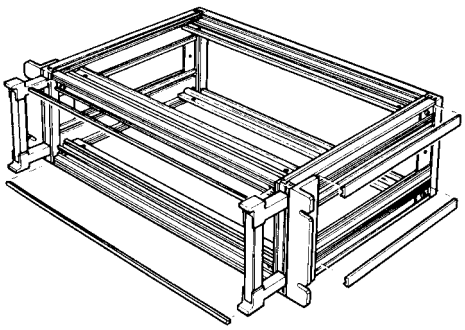
オプションのボトムカバーは本体が完成する前に入れます。**RKP-□□UNP** を前後左右の溝に入れます。

6A



フロントHフレーム部にハンドルを組立て、取り付けます。

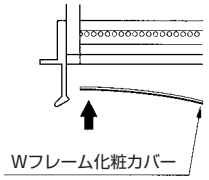
8 完成



Dフレーム化粧カバーを取り付け、
Wフレーム化粧カバーを下記手順(注1)にて取り付けて完了です。

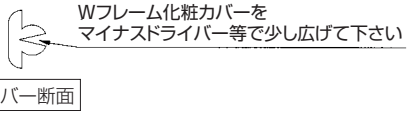
注1

●Wフレーム化粧カバーは、端からはめ込むように取り付けてください。（中央から取り付けると割れる恐れがあります）



注2

●注1において、万が一ガタツキ等が発生した場合は、



カバー断面

各種オプションとその使い方については弊社カタログを参照下さい。

SETTSU 摂津金属工業株式会社

本社 〒570-0006 大阪府守口市八雲西町4丁目1番26号
TEL 06(6992)2331 FAX 06(6991)6269

E-mail eigyou@settsu.co.jp URL http://www.settsu.co.jp